大阪芸術大学 文芸学科 教授 青山 勝

## 【研究の目的(概要)】

本研究は、2020(令和 2)年度以降 2 年間継続してきた研究課題「フランスにおける『写真術の誕生』とその現代的意義」の成果を土台に、最終年度としてそれを総括し、今後の研究の新たな方向性を見定めようとするものであった。本研究はこれまで、フランスにおける「写真術の誕生」の経緯をその技術的要素の実証的検証(=再現実験)も踏まえて解明しつつ、他方でその現代的意義を多様な理論的アプローチで探ることを目指してきた。2022(令和 4)年度は、ニセフォール・ニエプス(1765・1833)の写真術〈太陽印画法〉の再現実験をカメラによる撮影の段階にまで進めることができ、これによって、ニエプスの太陽印画法の全行程を具体的に辿り直すことが可能になった。これが今年度の研究の最大の成果である。

## 【今年度の主な研究成果について】

## ①太陽印画法の再現実験

一昨年度私は、「ニセフォール・ニエプス『太陽印画法 についての説明書』(1829 年) — 翻訳とコメント — 」 (大阪芸術大学大学院芸術研究科紀要『藝術文化研究』 第 25 号、2021 年 2 月)を執筆した。それを土台として、 昨年度から今年度にかけて私は、ニエプスの〈太陽印画 法〉の再現実験を進め、今年度はカメラを用いた撮影によ うやく成功するにいたった。これによって、「説明書」に記 述されている「太陽印画法」の全工程を辿り直すことが可 能になった。この成功を踏まえて、今年度私は、これまで の研究を総括する中間報告として「ニセフォール・ニエプ スの太陽印画法の実際——カメラ・オブスクラを用いた撮 影の再現実験――」を執筆した(大阪芸術大学大学院芸 術研究科紀要『藝術文化研究』第27号、2023年2月)。 この報告では、再現実験を踏まえて、まず太陽印画法を その工程に沿って具体的に説明した。すなわち、(1)瀝青 のワニスの準備、(2) 感光板の準備、(3) 露光、(4) 像の 溶出、という 4 つの工程である。また、後半では、太陽印 画法によって実際に私が制作した写真を観察することで 生じたさまざまな問題、とりわけ「ネガノポジの反転現象」 にかかわる問題について若干の考察を行った。

他方、残された課題も明確になった。太陽印画法に限定して述べても、第1に、露光時間の短縮という課題がある。この課題については今後、主にレンズの明るさ、ワニスの光に対する感度の2点を中心に研究を進めていきたい。

第2に、太陽印画法の写真製版法としての応用。現在すでに、銅板を腐食してプリントのための原版を得る試みは行い、簡単な描線を得るところまでは出来ているが、まだ満足のいく成果は得られていない。第3に、銀板とヨウ素を用いたネガ/ポジ反転の試み。これは、ニエプス自身「説明書」の中で触れているもので、今回の報告で記述した太陽印画法によって銀板上に像を獲得したのち、ヨウ素を使って銀板を黒化させ、それによって「黒から白にいたるさまざまな階調」を反転させるというものである。

以上に加えて、ニエプスとダゲールが共同で開発を進めたフィゾトロープという別の写真製法についても、まだ再現実験は着手できていない状態である。こうした課題にさらに取り組むことを通じて、1829年にニエプスとダゲールが提携の契約を取り交わして以降の2人の関係を十全なかたちで明らかにすることができるようになるであろう。

なお、「カメラを使って自然を写した現存する世界最初の写真」とされるハリー・ランサム・センター所蔵の《ル・グラの窓からの眺め》(1827年)についてはこれまで実見の機会がなかったが、今年度内の3月に渡米し、センターの他のゲルンシャイム・コレクションとともに調査を行う予定である。

## ②ニエプス関連の原資料の再検討

上記の再現実験を進めつつ、ニエプス関連の原資料 (書簡類)を丁寧に再検討する作業も、今年度も継続して 進めた。

昨年度来私が注目してきたのは、1827年にニセフォール・ニエプスが兄クロードを訪ねてイギリスを訪れた際に急速に進められた太陽印画法の概念化の過程、なかでも「自動性」の概念の出現についてである。

この「自動性」の含意を探るために、私は今年度、ピレオロフォールにかかわる資料の再読と点検を集中的に行った。ピレオロフォールは、1806年にニセフォール・ニエプスと兄クロード・ニエプスが共同で特許権の申請を行った機械で、現在では「世界初の内燃機関」として再評価が進んでいる。このピレオロフォールに関連して「自動的」という言葉がどのように使用されていたかというところにまで遡ったうえで、1827年に突如として写真術について使用されるようになるこの「自動性」の概念の含意を探った。この研究の成果については、次年度論文のかたちで公表する予定である。